

インド・テランガナ州と北九州市内環境関連企業は インド版エコタウンの実現に向けた相互協力の関心表明署名式を行います

インド・テランガナ州では、都市化や急激な人口の増加等に伴い廃棄物の発生量が急増し、廃棄物の中間処理や最終処分が課題となっています。

当社はこの課題解決に取り組むため、令和 6 年度から北九州市環境局及び北九州市内環境関連事業者とともに環境省・脱炭素社会の実現に向けた都市間連携事業委託業務を活用し、インド・テランガナ州を対象に、インド版エコタウン事業※1の展開を見据えた資源循環システム導入に向けた調査事業を実施しています。

令和 7 年度は同事業、並びに経済産業省・グローバルサウス未来志向型共創等事業委託費「南西アジア地域との経済連携強化に向けた戦略策定及び我が国企業の海外展開促進等調査におけるマスタープラン策定等調査事業（事業名：インドにおける環境社会サービス提供による動静脈連携工業団地整備マスタープラン策定等調査事業）」に、P9 合同会社と共同で採択されました。

テランガナ州政府は、インド版エコタウン事業に強い関心を示しており、2025 年 4 月 20 日、州首相を代表とする訪問団が北九州エコタウン視察のため北九州市へ来訪されます。

来訪にあわせ、テランガナ州政府と北九州市内環境関連企業（当社、P9 合同会社、インド版エコタウン事業に関心のある北九州市内環境関連企業）は、テランガナ州におけるインド版エコタウン事業の実現に向けて双方が協力していくための関心表明の署名を行います。

当社は、これまでの循環型社会形成支援の実績を活かし、今後数年をかけてインド版エコタウン事業の展開を推進し、同国の環境課題の改善に貢献して参ります。

※1 エコタウン事業：産業からの廃棄物のゼロ・エミッション化を目指すことによる、環境調和型経済社会形成の基本構想として位置付けられ、これによる環境産業創出等を推進することで、循環型のまちづくり形成を目的として平成 9 年に創設された制度。北九州エコタウンは日本で最も早期に整備された。

＜インド・テランガナ州と北九州市内環境関連企業のインド版エコタウンの実現に向けた相互協力の関心表明署名式＞

- ・日時 令和 7 年 4 月 20 日(日) 12:45～13:25
- ・場所 小倉城庭園（北九州市小倉北区城内 1-2）
- ・署名者 インド・テランガナ州 IT 電子通信・通商産業 担当
ジェイエス・ランジャン 特別主席次官
北九州市内環境関連企業（株）エックス都市研究所、P9 合同会社、
日鉄エンジニアリング(株)、新ケミカル商事(株)、アミタサーキュラーデザイン(株)
- ・立会者 インド・テランガナ州首相 レヴァント・レディ
北九州市長 武内 和久

お問合せ：エックス都市研究所九州事務所 担当：八百屋^や_お^や

TEL:093-513-2252 E-mail: sayaka.yaoya@exri.co.jp